

取扱説明書

型番：ZTM01

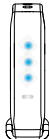
このたびは暑熱バンドをお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご利用の前に、取扱説明書を必ずお読みいただき、正しく安全にお使いください。読み終わった後は、必要なく、すぐ取り出せるように大切に保管してください。

製品の概要

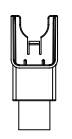
暑熱バンドはミツツシ株式会社のアルゴリズムを応用し、本体裏側センサー部で測定した脈波をもとに、暑熱環境下における作業、運動時の熱中リスクを算出します。電源ON時から演算を開始し、中程度の熱中リスクを黄色LEDとバイブレーションで注意喚起します。さらに、リスクが高くなると、赤色LEDとバイブレーションで警告を発します。本製品は、このLEDの点滅やバイブレーションにより、使用者へ休憩や水分補給を促すことを目的としています。

- 本製品は脈波から深部体温の上昇を推定する機器であり、体温を測定する機器ではありません。
- 本製品は医療機器ではありません。

梱包内容



本体



充電アダプタ



取扱説明書

使用方法

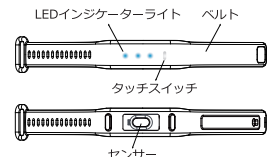
① 装着方法

図のように手首に装着してください。



正確に測定するためには、センサー部が肌に密着するように装着してください。

※各部の名称



② 電源をONにするには

電源OFFの状態では、タッチスイッチを3秒以上押すと、電源ONになります。

③ 電源をOFFにするには

電源ONの状態では、タッチスイッチを3秒以上押すと、電源OFFになります。

④ LED表示について

起動時		青色のLEDが点滅します。
測定中		朝のみ、青色のLEDが点滅します。
注意		黄色のLEDが点滅し、あわせて、バイブレーション通知します。
警告		赤色のLEDが点滅し、あわせて、バイブレーション通知します。

⑤ 注意と警告の消し方

「注意」の時、タッチスイッチをタップすると、「注意」を解除することができます。
「警告」は、タッチスイッチを長押しし、電源OFFするまで解除できません。

⑥ 充電方法



装着されている本体をリストバンドから外します。同梱されている専用のUSB端子に本体を挿し込み、USBポートに挿し込みます。充電後、本体画面のタッチスイッチを長押しすると起動します。

※充電中はLEDが白色に点滅します。充電完了するとLEDは長く点灯しますので、すみやかに充電アダプタを外してください。
※USBアダプタは急速充電 (USB Power Delivery) タイプを使用しないでください。

※電池残量について

電池残量		20%：白色のLEDが点灯、消灯を3回繰り返します。
低残量通知		10%：白色のLEDが点灯、消灯を5回繰り返します。

お手入れの方法

- 脈波を正確に測定するために、定期的にセンサー部やベルト部を布で拭き取ってください。
- 特に運動後や汗をかいた後はきれいに拭き取ってください。防水機能がございますので軽く水を濡らせた柔らかい布で拭き取っていただくこともできます。
- ベンジン・アルコール類は、ご使用しないでください。

困ったときは

- 「電源を入れても測定中(青色点滅)にならない」「タップしても注意表示が消えない」など正常に動作しない場合はリセット操作を行ってください。
- リセットするには「タッチスイッチ」長押し(3秒)を2回繰り返し、電源のOFF/ONをします。リセットを行うと熱中リスク演算が初期化され、測定時間もクリアされます。
- リセット操作を行っても正常に動作しない場合はカスタマーセンターにお問い合わせください。

本製品の廃棄について

本製品はリチウムイオン電池を使用しています。廃棄の際は、お住まいの地域の廃棄物、リサイクルに関するルールに従ってください。

使用上の注意

- 本製品は熱中リスクからの安全を保障するものではありません。本製品の表示に関わらず、具合が悪いときは適切に休憩をとることを強くお勧めいたします。
- 本製品は体調の良し悪し、疾患の有無を担保するものではありません。
- センサー部の汚れや、装着方法により脈波の計測精度が落ちると演算の精度が落ちますので、正しく装着すること、定期的なお手入れを心がけてください。
- 使用中に本体が発熱した場合は使用を中止し、カスタマーセンターにお問い合わせください。
- この製品は、素材の特性上、水分や汗、日光、摩擦などにより、色落ち、変色することがあります。
- 故障の原因になりますので、引っ張る・落とすなどの強い衝撃を与えないでください。
- ご使用の際は、周囲のものを引っ掛けたり、傷つけたりする恐れがありますので、十分ご注意ください。
- 脈波の計測目的以外のご使用は故障の原因となりますのでお控えください。
- 本品に搭載しているアルゴリズムは12歳以上のご利用を推奨しております。

仕様表

商品名	暑熱バンド (アラート機能付き)
型番	ZTM01
本体寸法	38mm*15.5mm*11.6mm
本体素材	ABS757
本体重量	7.5g
バンド寸法	腕廻りサイズ130-210mm
バンド素材	TPU
耐水性能	IPX4
連続稼働時間	12H
動作環境	+10-50℃
電池	3.7V 100mAh
充電端子	2PIN 専用品
充電時間	1H
製造国	中国

状態の確認方法

青色表示
●LEDインジケータライトの表示が何もない状態でタッチスイッチをタップすると青色に点滅する場合があります。その場合は、測定中です。

緑色表示
●熱中症指数 (WBGT) に気をつけて活動してください。
●LEDインジケータライトの表示が何もない状態でタッチスイッチをタップすると緑色に点滅する場合があります。その場合は、リスク低です。

黄色表示
●深部体温上昇の変化が見られたため、アラートがでています。
●LEDインジケータライトの表示が何もない状態でタッチスイッチをタップすると黄色に点滅する場合がありますが、同様です。
●水分補給をお勧めします。可能であれば、涼しい場所で休憩をとってください。

赤色表示
●最大の熱中リスクが発生しています。
●個人差がありますので、体調の状態 (めまいや吐き気など) を合わせて確認し休憩や水分補給に加え、作業中止を検討してください。
●赤色アラートが出ると、計測は中止となります。再度計測をする場合はリセット操作を行って、計測をやり直してください。

問い合わせ先

<カスタマーセンター>
TEL：0120-777-319(無料)
月曜～金曜9時～17時(土日、祝日を除く)
<販売元>
株式会社ザックコーポレーション
〒710-1101 岡山県倉敷市茶屋町233-2

- 本書の内容の一部または全部を無断で複製/転載することを禁止します。
- 本製品の仕様および外観は、製品の改良のため予告なしに変更する場合があります。
- 本製品を使用したことによる他の機器の故障や不具合等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品のうち、戦略物資または役務に該当するもの輸出にあたっては、外為法に基づく輸出または役務取引許可が必要です。

安全上のご注意

⚠ 危険

- ⊘ 本製品はリチウムイオン充電式電池を内蔵しています。火中投入、加熱、高温での充電、使用、放置をしないでください。過度な力を加えないでください。火災、やけど、けが、感電、内蔵電池の発熱、発火、破裂、液漏れの原因になります。



Li-ion 00

- ⊘ 分解・改造しないでください。火災、やけど、けが、感電の原因になります。

⚠ 警告

- ⊘ 内部に金属物を入れたりしないでください。火災、感電の原因になります。
- ⊘ 本製品を落としたり、ぶつけたりしないでください。本製品が破損した場合は、すぐに使用を中止してください。そのまま使用し続けると火災、感電の原因になります。
- ⊘ 落下や衝撃などによる変形などの異常が見られた場合は、絶対に使用しないでください。内蔵電池の発熱、発火、破裂、漏液の原因になります。

⚠ 注意

- ⓘ 定期的に充電してください。本製品を長期間使用しない場合でも、6か月に一度を目安に充電してください。内蔵電池の膨張や劣化の原因になります。
- ⓘ ベルトを締め付けすぎず、正しく装着してください。炎症やかぶれなどの原因になることがあります。
- ⓘ 肌に異常を感じたら使用を中止してください。そのまま使用すると、炎症やかぶれなどの原因になることがあります。

熱中症予防のために

暑さを避ける

室内では・・・

- 扇風機やエアコンで温度を調節
- 遮光カーテン、すだれ、打ち水を利用
- 室温をこまめに確認
- WBGT値※も参考に

屋外では・・・

- 日傘や帽子の着用
- 日陰の利用、こまめに休憩
- 天気の良い日は、日中の外出をできるだけ控える

からだの暑熱を避けるために

- 通気性のよい、吸湿性・速乾性のある衣服を着用する
- 保冷剤、氷、冷たいタオルなどで、からだを冷やす※WBGT値：気温、湿度、放射(放射)熱から算出される暑さの指数。運動や作業の度合いに応じた基準値が定められています。環境省のホームページ(熱中症予防情報サイト)に、観測値と予想値が掲載されています。

こまめに水分を補給する

室内でも、屋外でも、のどのほきを感していなくても、こまめに水分・塩分、スポーツドリンクなどを補給する

〔熱中症予防のため〕(厚生労働省) (https://www.mhlw.go.jp/content/001118195.pdf) を加工して作成

熱中症が疑われる人を見かけたら

涼しい場所へ

- エアコンが効いている室内や風通しのよい日陰など、涼しい場所へ避難させる

からだを冷やす

- 衣服をゆるめ、からだを冷やす (特に、首の周り、脇の下、足の付け根など)

水分補給

- 水分・塩分、スポーツドリンクなどを補給する

自力で水が飲めない、意識がない場合は、すぐに救急車を呼びましょう！

熱中症の症状

- めまい、立ちくらみ、手足のしびれ、筋肉のこむら返り、気分が悪い
 - 頭痛、吐き気、嘔吐、倦怠感、虚脱感、いつも様子が違う
- 重症になると、
- 返事がおかしい、意識消失、けいれん、からだが発熱

〔熱中症予防のため〕(厚生労働省) (https://www.mhlw.go.jp/content/001118195.pdf) を加工して作成